



自由民主党市議団

小町 明夫

質問項目

◆越境樹木、越境枝に関する諸課題について

問 越境樹木、越境枝に関する諸課題について

答 越境枝によって標識や信号機が隠れている場合、どのように対応するのか。

まじり 標識や反射鏡、信号機が見えない状態を発見又は連絡を受けた際は現場を確認し、樹木の所有者等に剪定するように依頼している。

問 越境枝が原因で車両や自転車の走行、歩行に支障をきたす報告や相談はあるか。その場合

の対応方法はいかがか。
まじり 樹木の枝が支障となり通行に影響がある等、越境枝に対する相談は一定程度あり、所有者の方には、剪定の依頼に応じていただいている。
問 「樹木剪定のお願ひ」をホームページに掲載している自治体がある。当市の対応を伺う。
まじり 「道路の適正管理しを付け、様々なお願いを周知している。」



自由民主党市議団

木村 隆

質問項目

◆地場農産物について
◆スクールランチについて

問 市内農業者の経営の安定のための施策の強化を

答 地産外消の視点も重要と考える。見解は、

地域創生 人口減少による地域経済の縮小等が見込まれる中、農業者の中・長期的な経営の安定に必要な施策だと認識している。第3次農業振興計画では、戦略の一つに盛り込みたい。

食育 食育の観点から中学生のスクールランチの充実を

問 中学校給食はタッチパネルに触れて予約

する。コロナウイルス等の対応も視野に入れたシステムを検討しているか。
教育部長 コロナ禍を踏まえ、環境整備や使いやすいシステムの検討を進めたい。
問 中学生に対する食育をどう考えているか。
教育部長 生徒や保護者に対するし、栄養バランスの取れたスクールランチへの理解を深め、喫食率向上を図るとともに、新しい生活様式を踏まえた給食のあり方を探りたい。



自由民主党市議団

土方 桂

質問項目

◆公共施設再生について

問 市民のニーズに合わせた「稼げる施設」を

答 学校にコンビニを入れたり賃料を取ることやネーミングライツの導入等、稼ぐ施設とすることへの考えを伺う。

経営政策 財源を生み出すという考えは重要である。事業者にも工夫してもらい財源を確保していくことが必要と考える。

問 ヴェルデニアのような施設を作り、テレワーク向けに有料で開放する考えはあるか。

総務部長 公共施設再生の面では多機能化という考え方もあり、市民のニーズに応える新たな機能も考慮する必要がある。基本方針を決めた時とは環境が大きく変わった。今後の施設再生について伺う。
市長 新しい日常と言われの中で、公共施設が果たすべき役割を多角的に考える必要がある。稼ぐ公共施設という観点も積極的に検討する必要があると考える。



自由民主党市議団

志村 誠

質問項目

◆東村山市内の石仏や石塔の保存について

問 東村山市内の石仏や石塔について

答 市内に祀られている石仏や石塔、それらを困うお社の状態や数を把握しているか。

教育部長 市としては、寺社には353件、道路や個人の敷地等には181件あり、合計534件と把握している。

問 平成5年12月定例議会の一般質問で、文化財保護（石像、石塔）について答弁されたが、その後の進捗状況を伺う。

教育部長 文化財保護審議会での保護のあり方の検討を行った。現行の条例だけでは保護しきれない文化財の保護や次世代への継承について、さらに研究していきたい。
問 石仏や石塔には個々に言い伝えや謂れがあると考える。データ化して保存することも急務と考えるか。
教育部長 石造物調査ボランティアを平成29年度に立ち上げ、順次調査を行っている。



日本共産党

浅見 みどり

質問項目

◆生存権を保障する生活保護制度の拡充のために

問 生活保護はあなたの権利ためらわずに利用を！

答 生活保護利用世帯のうち、エアコン未設置世帯数と夏季加算に対する市の見解を伺う。

健康福祉 エアコンのない世帯数は把握していない。夏季加算の創設に向け、国等へ要望を行っている。

問 長野県では、パンフレットで「憲法第25条の生存権の理念に基づき最後のセーフティネットが生活保護」とわか

りやすい形で記載している。当市も記載が必要だと考える。見解は。
健康福祉 当市ではよりわかりやすい言葉で説明し、理解してもらえるよう努めている。
問 保護のしおりは改善されているが、まだ不十分だと考える。今後の見直しについて伺う。
健康福祉 読む方がわかりやすく、誤解がないよう、今後も随時見直しを行っている必要があるかと考えている。



日本共産党

山口 みよ

質問項目

◆コロナ禍から子どもを守るために

問 休校明けの学校の対策はどうなっているか

答 子どもたちの心への影響、困り事等をどのように把握しているか。

教育部長 学校再開後にアンケート調査を実施し、学級担任等による聞き取りを行った。この調査によって把握できた家庭内での問題や人間関係、学習に関する心配等については、教職員やスクールカウンセラーによる相談、関係機関との連携により丁寧に対応している。

問 教室での身体的距離の確保は、どのように行っているのか。

教育部長 グループ学習等は控え、身体的距離を確保した授業を中心にしている。その他、空き教室や特別教室の利用、児童・生徒のマスクの着用、空調を稼働しながら教室の窓や扉を開放して密閉空間とならないよう工夫を行い、感染症や熱中症の予防に努めている。



公明党

渡辺 英子

質問項目

◆災害に強い東村山へ 在宅避難に必要な行政支援とは
◆ひとりもれなく東村山の子ども 多胎児支援の充実を急げ

問 災害に強い東村山 在宅避難に必要な行政支援を

答 住宅耐震化を推進するため、住宅修繕費と木造住宅の耐震改修助成制度の連携と充実を求め、見解を伺う。

環境安全 目的や内容に違いはあるが、引き続き連携を図っていく。また、地震に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震改修費助成制度の充実を検討する。

問 ひとりもれなく子育て支援 多胎児支援を充実！

「どうきょうママパパ応援事業」として予算を計上し、多胎児支援を中心とした事業を提示している。市でも移動経費補助、多胎児家庭サポート事業、多胎児サポート事業、産後家事・育児支援事業を予算に計上することを求めるが、見解を伺う。
子ども課 これまでの事業をどう進化させ充実させていくかという視点で、今後の課題も見据えた中で検討していく。



公明党

横尾 たかお

質問項目

◆シングルマザーの支援の充実を！
～真の自立支援と就労支援とは～

問 シングルマザーの正規就労者は多くないと思われ。手当等の申請にきた際の関わり方が重要だと考えるが見解を伺う。

答 要であり、ご指摘のように手当等の申請にきた際の関わり方が重要と捉えている。

問 母子家庭に自立や就労を支援する民間団体を多くある。連携強化を提案するが、見解を伺う。

健康福祉 市ではほっとシテポートセンター等で支援を行っている。母子家庭の自立に向け、民間団体のノウハウを活用した就労支援を研究していく。

